

## XV・フォレスターのリコールについて

令和3年4月15日、株式会社SUBARUより、国土交通省にXV、フォレスターのリコールを届出いたしました。

リコール届出番号	4937	リコール開始日	令和3年4月16日
不具合の部位(部品名)	緩衝装置(リヤスタビライザ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	リヤスタビライザのブラケットと車体の締結面において、使用過程でボルトが緩み、当該取り付け部にガタが生じて異音が発生することがある。そのまま使用を続けるとボルトが脱落する可能性があり、最悪の場合ブラケットが周辺部品を傷つけるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該取付ボルトの状態を点検し、規定トルクで締付けを行う。また、ボルトが脱落していた場合は、新品のボルトを取付ける。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の 車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の 台数	備考
スバル	DBA-GT3	「XV」	GT3-027002 ~ GT3-066822 平成29年4月21日 ~ 令和元年5月27日	16,634	
	DBA-GT7		GT7-040001 ~ GT7-200176 平成29年4月21日 ~ 令和元年5月28日	39,953	
	5AA-GTE		GTE-002017 ~ GTE-007689 平成30年9月12日 ~ 令和元年5月8日	5,671	
	5BA-SK9	「フォレスター」	SK9-002033 ~ SK9-021058 平成30年7月3日 ~ 令和元年5月31日	19,025	
	5AA-SKE		SKE-002027 ~ SKE-017309 平成30年8月24日 ~ 令和元年5月7日	15,277	
	(計5型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成29年4月21日 ~ 令和元年5月31日	(計 96,560 台)	

※対象車の車台番号及び製作期間の範囲には、対象にならない車両も含まれる場合がありますので、詳しくは最寄りの販売店にお問い合わせください。